

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 小平市子ども・若者計画の推進について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

小平市では第2次小平市青少年育成プランの計画期間終了を受け、2018年3月小平市子ども・若者計画が策定されました。先の青少年育成プランの推進により、その後の実態調査や統計データから特に悪い結果や深刻な状況は見られなかったと一定の評価をしながらも、昨今のひきこもりや児童虐待、貧困など、子ども若者をめぐるさまざまな問題が深刻化、複雑化している状況は小平市でも例外ではないとしています。小平市子ども・若者計画は、困難を抱える子ども若者の支援と、すべての子ども若者の社会的自立に重点を置いた計画になっています。青少年育成プランから引き継がれなかった事項にも注目し、その基本理念である子ども若者が夢と希望をもって、自分らしく自立し躍動できるこだいらを目指すために、以下質問します。

- 1、小平市子ども・若者計画が、困難を抱える子ども若者の支援とすべての子ども若者の社会的自立に重点を置く理由をお示してください。
- 2、第2次小平市青少年育成プランには、子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利など子どもの権利について関心を高め、権利行使を保障することが今日の課題と記されていますが、プランの成果を継承する子ども若者計画に記されていない理由をお示してください。
- 3、子どもの貧困がクローズアップされていますが、小平市の状況をどう認識していますか。見解は。
- 4、生活困窮者学習支援事業、ひとり親家庭学習支援事業の現在の取組みについて具体的にお示してください。
- 5、貧困やひきこもりなど困難を抱える子ども若者への就労を支援するためにどのような取組みをしますか。
- 6、子ども食堂について、あり方を検討するとありますがどのような検討をしますか。市でも子ども食堂を運営する考えがありますか。
- 7、子ども若者の自立を促すために消費者教育はとても大切です。どのような取組みをしていきますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成30年5月28日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)